

診療所等賃上げ支援事業申請書

診療所等賃上げ支援事業について、次のとおり申請します。

【対象施設であることの申出】※該当する要件にチェックを入れること

- ①：令和8年6月1日時点で令和8年度診療報酬改定による見直し後のベースアップ評価料を届け出る。

【その他要件を満たすことの確認・誓約等】

- ②：本事業の給付額を活用してベースアップを実施し、令和8年6月1日から当該ベースアップの水準を維持又は拡大する。
(②、③、④の重複可)
- ③：賃金表等や給与規程等の変更に時間を要するため、本事業の給付額を活用して一時金又は特別手当を支給し、
令和8年6月1日から支給した対象職員のベースアップを実施する。
(②、③、④の重複可)
- ④：令和7年度の対象職員のベースアップが令和7年3月31日時点の賃金水準と比較して2.0%を上回って実施しており、
令和7年12月から令和8年5月までの間の当該2.0%を上回る部分に充てる。
(②、③、④の重複可)
- ⑦：本事業の給付額は②～④のために支出する。
- ⑧：本事業により賃金改善を行う時点から令和8年5月までの間、賃金項目(業績等に応じて変動するものを除く。)の水準を低下させない。
- ⑨：著しく偏った配分は行わない。
- ⑩：労働基準法、労働災害補償保険法、最低賃金法、労働安全衛生法、雇用保険法その他の労働に関する法令に違反し、
罰金以上の刑に処せられていない。
- ⑪：労働保険料の納付を適正に行っている。

【申請額】

所属する同一グループ内の保険薬局の数として1店舗以上5店舗以下(当該保険薬局を含む)である保険薬局に該当(R7.4.30時点) ※該当する場合は○を記載	×	給付額 145,000円	=	算定額 0円
所属する同一グループ内の保険薬局の数として6店舗以上19店舗以下(当該保険薬局を含む)である保険薬局に該当(R7.4.30時点) ※該当する場合は○を記載	×	給付額 105,000円	=	算定額 0円
所属する同一グループ内の保険薬局の数として20店舗以上(当該保険薬局を含む)である保険薬局に該当(R7.4.30時点) ※該当する場合は○を記載	×	給付額 70,000円	=	算定額 0円
				申請額 0円

【記入例】

委任状の有無：有

開設者：株式会社県庁薬局 代表取締役 宮崎太郎

薬局の名称：県庁薬局

開設者が法人の場合は代表者氏名も記入

診療所等賃上げ支援事業申請書

診療所等賃上げ支援事業について、次のとおり申請します。

【対象施設であることの申出】※該当する要件にチェックを入れること

文頭の各ボックスに☑を記入

②③④は該当項目を☑する

⑤⑥は薬局では欠番

①：令和8年6月1日時点で令和8年度診療報酬改定による見直し後のペー

【その他要件を満たすことの確認・誓約等】

②：本事業の給付額を活用してベースアップを実施し、令和8年6月1日から当該ベースアップの水準を維持又は拡大する。
(②、③、④の重複可)

③：賃金表等や給与規程等の変更に時間を要するため、本事業の給付額を活用して一時金又は特別手当を支給し、
令和8年6月1日から支給した対象職員のベースアップを実施する。
(②、③、④の重複可)

④：令和7年度の対象職員のベースアップが令和7年3月31日時点の賃金水準と比較して2.0%を上回って実施しており、
令和7年12月から令和8年5月までの間の当該2.0%を上回る部分に充てる。
(②、③、④の重複可)

⑦：本事業の給付額は②～④のために支出する。

⑧：本事業により賃金改善を行う時点から令和8年5月までの間、賃金項目(業績等に応じて変動するものを除く。)の水準を低下させない。

⑨：著しく偏った配分は行わない。

⑩：労働基準法、労働災害補償保険法、最低賃金法、労働安全衛生法、雇用保険法その他の労働に関する法令に違反する罰金以上の刑に処されていない。

⑪：労働保険料の納付を適正に行っている。

手書きの場合は横の給付額を記入

※エクセルファイルで作成の場合は該当区分に○を入れると自動反映される。

【申請額】

所属する同一グループ内の保険薬局の数として1店舗以上5店舗以下(当該保険薬局を含む)である保険薬局に該当(R7.4.30時点) ※該当する場合は○を記載	○
---	---

×

給付額
145,000円

=

算定額
145,000円

所属する同一グループ内の保険薬局の数として6店舗以上19店舗以下(当該保険薬局を含む)である保険薬局に該当(R7.4.30時点) ※該当する場合は○を記載	○
--	---

×

給付額
105,000円

=

算定額
0円

所属する同一グループ内の保険薬局の数として20店舗以上(当該保険薬局を含む)である保険薬局に該当(R7.4.30時点) ※該当する場合は○を記載	○
---	---

×

給付額
70,000円

=

算定額
0円

支給申請書兼請求書の2.支給申請額に記入

申請額
145,000円